

令和 8 年度

石川県立看護大学

学校推薦型選抜　社会人選抜　入学試験

小　論　文　問題　(90 分)

[注意事項]

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子、解答用紙の中を見てはいけません。
- 2 問題冊子は ページあります。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁
または解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答はすべて解答用紙の指定された解答欄に記入しなさい。
- 4 解答用紙の表紙に受験番号および氏名を記入しなさい。また、以降のページには受験
番号を記入しなさい。
- 5 この問題冊子の下書き用紙等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけ
ません。
- 6 問題冊子は試験終了後、持ち帰りなさい。

第1問 次の文章を読み、設間に答えなさい。

この部分につきましては、著作権の都合上、公開していません。

(谷川嘉浩：増補改訂版 スマホ時代の哲学、ディスカヴァー・トゥエンティワン、129-137、2025より一部改変して引用)

問1 下線部（1）について、何が、どうして失われたと筆者は主張しているのか、180字以内で説明しなさい。

問2 下線部（2）について、知人の死を悼み、悲しみを受け止めるためには何が必要だと著者が考えていたかを推測したうえで、老女がなぜ、他者の死を正しく悼むことができなかつたのかを考えて、210字以内で説明しなさい。

＜出題意図＞

スマートフォンなどのデジタルデバイスが普及した現代社会に関する文章を通じて、他者に思いをはせ、他者を悼むことについて深く考えることを求めるとともに、論理的な読解力・思考力・表現力を問うた。

＜解答例＞

問1

常時接続の世界では、対面で誰かと話しながら別の誰かのLINEに反応するなど、私たちの生活がマルチタスク化しており、さまざまな事柄、相手に注意が分散することで、他者から切り離されて何かに集中する〈孤立〉の状態が失われる。また、他者と接続していることが当たり前になることで、他者の刺激がない退屈に耐えられなくなり、自分自身と対話している状態である〈孤独〉が失われる。

(178字)

問2

他者を追悼するためには、一定の時間、心静かに自分自身と対話するように「思考」することが必要である。しかしながら、老女は携帯電話によって他者と常に接続している生活に慣れきってしまったために、〈孤立〉状態の退屈さに耐えることができず、〈孤立〉状態ではじめて可能になる〈孤独〉な自己自身との対話も出来なくなっていた。そのため、時間をかけて、他者に思いをはせることができなかったと考えられる。(192字)

注：上記「出題意図」および「解答例」に関する質問には回答いたしかねます。

第2問 次の英文を読み、設間に答えなさい。

この部分につきましては、著作権の都合上、公開していません。

(Yosuke Ushiyama: Report on volunteer nurse activities to help survivors living in temporary housing facilities in Noto Peninsula, Japan. Health Emergency and Disaster Nursing (2025) 12, 84-85.より一部改変して引用)

(注) interact 相互に作用する peninsula 半島 seismic intensity 震度
disaster-stricken area 被災地 demolish 解体する mow 刈る
discard 捨てる floodgate 水門 rapport 信頼関係
empathize 共感する hardship 困難 loneliness 孤独

問1 本文の内容を200字以内の日本語で要約しなさい。

問2 このような場面で看護師ではないあなたが取れる行動は何か。あなたが被災地の外から長期ボランティアとしてやって来たという前提で150字以内で述べなさい。

＜出題意図＞

課題文として能登半島地震に関する英文を用い、文章表現力、論理的思考力、読解力および災害に関する知識を問うた。

＜解答例＞

問 1

著者は 2024 年 9 月、能登半島地震の被災地で 2 日間ボランティア看護師として活動し、仮設住宅に住む被災者を訪問した。この活動を通じて被災者の孤独や困難に共感する重要性を実感した。被災者は生活環境の改善を求めており、孤立感や将来への不安を抱えていたが、ボランティアの訪問に感謝していた。著者は、挨拶から始めて徐々に深い会話をすることで信頼関係を築き、被災者支援における共感と交流の重要性を強調している。(199 字)

問 2

被災者の自宅では家屋のがれきの片付けや、使えなくなった家電や不要になる家財の搬出、仮設住宅への家具や家財の移動などを行う。避難所・仮設住宅では高齢者に対しては見守り、生活の援助、食事の支援あるいは話し相手をし、子供に対しては遊び場の提供、食事の支援あるいは学習の援助などをする。(139 字)

注：上記「出題意図」および「解答例」に関する質問には回答いたしかねます。